

第3学年 社会科（公民的分野）学習指導案

指導者 海老原 靖志

1 単元名 現代の民主政治と社会（地方の政治と自治）

2 学習目標

| 観点 | 目標 |
|---------------------|---|
| 社会的事象への関心 ・意欲・態度 | ・民主政治をよりよく運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また、自分たちはどのように関わっていけばよいのかを考えようとする。 |
| 社会的な思考・判断 ・表現 | ・国や地方公共団体の政治に関わる様々な事象から課題を見いだし、対立と合意、効率と公正の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 |
| 資料活用の技能 | ・国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状と課題などについて読み取ったり、文章や図表などにまとめたりすることができる。 |
| 社会的事象についての知識・理解 | ・国や地方公共団体の政治の仕組みについて、為政者や国民、地域住民の立場から理解し、その知識を身に付けることができる。 |

3 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（3）イの、民主政治と政治参加に該当する。地方自治の基本的な考え方を理解させ、自治意識の基礎を育てる。また、国会を中心とする我が国の政治の仕組みのあらましを理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることも理解させる。以上の内容を踏まえ、現実の政治に対する関心を高めるために、身近で具体的な事例を取り上げて学習を展開し、政治的な事象を捉える見方や考え方の基礎を養うとともに、将来国政に参加する公民としての資質の向上を図ることをねらいとしている。

アンケート調査の結果は、次のとおりである。

(*人 *月*日実施)

| |
|--|
| Q 1 グラフや資料を調べ、読み取ることは得意ですか。 |
| 得意 (*名) どちらかといえば得意 (*名) どちらかといえば苦手 (*名) 苦手 (*名) |
| Q 2 調べたことを自分の言葉でまとめることは得意ですか。 |
| 得意 (*名) どちらかといえば得意 (*名) どちらかといえば苦手 (*名) 苦手 (*名) |
| Q 3 **市は財政的に豊かだと思いますか。 |
| 豊かである (*名) どちらかといえば豊か (*名) どちらかといえば苦しい (*名) 苦しい (*名) |
| Q 4 税収入を増やすためにはどうしたらよいか書きなさい。 |
| 人口を増やす (*名) 企業を誘致 (*名) お店を増やす (*名) 高速道路を活用 (*名) |

アンケート調査の結果から、本学級の生徒は、グラフや資料から、社会的事象の特色を読み取ることは得意であると感じている。しかし、調べたことを自分の言葉でまとめることに対して苦手を感じている生徒が*人いる。この結果より、読み取ることは得意であるがそれを表現することは苦手としていることが分かる。また、**市の財政は苦しいと答えている生徒が*名いる。税収入を増やすためには、人口を増やすことであると答えた生徒が多くいるが、中には高速道路に着目している生徒もいる。

このような現状から、本単元では、政治や社会についての新聞記事や法令、判例などの資料を提示してグループで考えさせ、「対立」と「合意」、「効率」と「公正」などの社会的な見方や考え方と関連付けて考えさせたり、判断させたりする。さらに、理解した内容や思考し、判断する過程や判断した結果について根拠を基にまとめたり、発表させたりしたい。

4 学習と評価の計画（21時間取扱い） ○数字は本時

| | | |
|--------------|-------|-----|
| 第1次 現代の民主政治 | ----- | 5時間 |
| 第2次 国の政治の仕組み | ----- | 9時間 |
| 第3次 地方の政治と自治 | ----- | 7時間 |

| 時 | 学習内容 | 評価の観点 | | | | 評価規準（評価方法） |
|---|------------|-------|---|---|---|--|
| | | 関 | 思 | 技 | 知 | |
| 1 | わたしたちと地方自治 | ○ | | | | 地方の政治に関心をもち、地域社会の現状や課題について調べようとしている。 (観察) |
| 2 | 地方自治の制度 | | | ○ | | 地方自治の仕組みを、地方議会と首長の役割を中心に理解している。 (ノート、観察) |
| 3 | 地方財政 | | | ○ | | さまざまな統計資料から地方財政の歳入や歳出を読み取っている。 (ノート、観察) |
| 4 | 住民参加の拡大 | | ○ | | | 自らと政治とのかかわりについて、多面的・多角的に考察している。 (ノート、観察) |

| | | | | |
|---|-------------|--------|--|--|
| 5 | わたしたちの政治参加① | ○ | | * * IC付近に誘致する施設のメリットとデメリットを考えている。 (ノート, 観察) |
| ⑥ | わたしたちの政治参加② | ○ ○ | | * * IC付近に誘致するものとして、最もよいと考える施設を効率と公正の観点から、根拠を明確にして考えている。 (ワークシート, 観察) 自分たちの町に関心をもち、自分たちでよりよくしているとする必要性を感じている。 (ワークシート, 観察) |
| 7 | 確認テスト | ○ ○ ○ | | これまで学んだことを生かし、問題を解いている。 (確認テスト) |

5 本時の学習

(1) 目標

政治に対する関心を高め、* * IC付近に誘致するとよい施設を「効率」と「公正」の観点から考えることができる。

(2) 本時の人権教育の視点

グループで考えを深め、意見をまとめる話し合い活動を通して、本校の人権尊重教育の視点「相手を思いやり、励まし協力し合うことができる」に迫りたい。

(3) 準備・資料

①タブレットPC、大型テレビ ②黒板掲示資料（高速道路の利点）③ダイヤモンドランキング
④項目短冊 ⑤ワークシート、付箋紙（ピンク） ⑥各項目の資料

⑦ホワイトボード（小）、項目短冊 ⑧ワークシート、付箋紙（青） ⑨ホワイトボード（大）

(4) 展開 ◎は人権教育の心をはぐくむ配慮事項 ◆は意欲を高め、確かな学力を身に付けさせるための手立て

| 学習活動・内容 | 資料 | 支援と評価 |
|--|--|---|
| 1 本時の学習課題をとらえる。 (1) 前時までの学習を振り返る。 (2) 本時の学習課題を捉える。 | ① ② | ・* * 市についての現状や課題について振り返り、ICを利用して市の発展のために何ができるかについて確認する。 ・本時の学習課題を提示し、意欲付けをする。 |
| 「ICを有効活用して、元気ある* * 市をつくろう」 住みよい町づくりにとって大切なことは何だろう。 | | |
| ICの有効活用の仕方についてまとめること。 ① ② ② ③ ③ ③ ④ ④ ⑤ | ③ ④ ⑤ ⑥ ⑤ ⑥ | ・自分の考えを整理しやすいように、個人でダイヤモンドランキング表にまとめるようにする。 ・ダイヤモンドランキング表の上位には適しているもの、下位には適していないものを入れるように説明する。 ・前時に生徒から意見を聞き、ICの有効活用について考えられるものを9つの項目に決めておく。 ・効率と公正の考え方に基づいて順位付けを行うように伝える。 ◆あらかじめダイヤモンドランキング表と項目を記入した付箋紙（ピンク）を用意しておき、自分の考えを自由に移動しながら表現しやすいようにしておく。 ・ダイヤモンドランキング表の①と⑤に入れた項目を選んだ理由を利点や欠点にも触れながらワークシートに記入させる。 |
| 〈予想される生徒の項目〉 ○ショッピングモール ○工業団地 ○運動公園 ○老人ホーム・介護施設 ○テーマパーク ○公営ギャンブル場 ○清掃工場 ○住宅地 ○アウトレットモール | | |
| 3 グループで話し合う。 (1) グループで意見を出し合い、話し合う。 | ⑦ | ・3～4人のグループにして、意見を出しやすくする。 ・グループの意見を集約しやすいようにランキング表を用意し、意見をまとめていく。 ◎付箋紙を動かしながら、自由に意見を出し合えるように支援する。 |

| | | |
|-----|---------------|--|
| | | <p>◆ランク付けをして1位を決めることが重要ではなく、友達の意見を聞きながら自分の基準と違う見方をしていることに気付けるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表に対して、質問したり、自分の考えが述べられるように声をかける。 ・グループでまとめたランキングを簡単に説明し、黒板に掲示する。 ・自分の意見と違う友達とグループになり、友達と自分のランキング表を基に話し合わせる。 <p>◎友達のランキングやランク付けをした根拠を聞くように伝える。また、同じランキングでも根拠が違うこともあるので、選んだ理由についても説明させる。</p> <p>◆考えの変化が分かるように、新しいダイヤモンドランキング表と付箋紙（青）を用意しておく。</p> <p>◆グループで話し合ったことを基に、自分のランキングを変更してもよいことを伝える。また、変更すると判断した根拠をワークシートに記入させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をホワイトボード上の項目短冊を動かしながら説明させる。 ・友達の意見を聞いてランキングが変化したところがあれば、その根拠を発表するように伝える。 <p>◆多様な考え方が出るように、教師が意図的に発問を投げかける。</p> |
| 3 | 自分の意見を練り直す。 | |
| (1) | 自分の意見を見直す。 | |
| (2) | 自分の意見を発表する。 | |
| 4 | 本時のまとめをする。 | <p>⑧</p> <p>⑨</p> <p>④</p> <p>◎B：＊＊IC付近に誘致するとよい施設を効率と公正の観点から根拠を明確にして考えている。 (思：ワークシート、観察)</p> <p>A：＊＊IC付近に誘致するとよい施設を効率と公正の観点から根拠を明確にして、利点だけでなく欠点も比較しながら考えている。 <努力を要する生徒への手立て> 自分の意見が上手く説明できない生徒には掲示資料や付箋紙を見ながら一緒に考える。</p> |
| 5 | 本時の振り返りを行う。 | <p>◎B：自分たちの町に関心をもち、自分たちでよりよくしていこうとする必要性を感じている。 (関：ワークシート、観察)</p> <p>A：自分たちの町に関心をもち、様々な人の意見を考えを聞きながら自分たちでよりよくしていこうとする必要性を感じている。 <努力を要する生徒への手立て> 政治を他人任せにするとどんなことが起こるか今までの話合いから想起させる。</p> |
| 6 | 次時の学習課題を確認する。 | <p>◆話し合いや友達の発表を通して考えたことや意見が変わったことなどについて考えるように伝える。その際、判断した根拠を入れて自分の考えが述べられるようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習のねらいを予告し、意欲付けを図る。 |